

しょうがっこう ねんせいむ  
小学校 1~3 年生向け

# こ 子どもの 被 害 と ひ こう ぼう し 非 行 防 止 ガイド



## ひがい 被害にあわないための

## 5つのやくそく

- ① 知らない人にはついていきません。
- ② だれかにつれていかれそうになったら、「たすけて」と大ごえで、たすけを呼びます。
- ③ 一人ではあそびません。
- ④ あそびに行くときは、「どこで」「だれと」あそぶのか、おうちの人に言って出かけます。
- ⑤ 友だちが知らない人につれていかれそうになったら、大ごえでたすけを呼びます。

ひろしまけん ひろしまけんきょういく いいんかい ひろしまけん けいさつ ほんぶ  
広島県 広島県教育委員会 広島県警察本部

# き 気をつけよう！

がっこう

学校からかえっていると・・・

こうえん

公園であそんでいると・・・

知らない<sup>ひと</sup>人から

「ちょっとおいで」  
「こっちに<sup>ま</sup>きて」  
「ウサギを<sup>み</sup>見にいこう」  
と<sup>こえ</sup>声をかけられました。



知らない<sup>ひと</sup>人に<sup>くるま</sup>車の中<sup>なか</sup>から

「のせてあげる」  
「お母<sup>かあ</sup>さんが  
びょう<sup>ま</sup>気が<sup>な</sup>なった」  
と<sup>こえ</sup>声をかけられました。



どうなるの？

どうなるの？



ひと<sup>め</sup>め  
人目につかない  
ところにつれて  
いわれます。



うでをつかまれて、  
むりやり<sup>くるま</sup>車の中<sup>なか</sup>に  
いれられます。

どうしたらいいの？

- 知らない<sup>ひと</sup>人にはゼッタイについていかない。
- 知らない<sup>ひと</sup>人の<sup>くるま</sup>車にはゼッタイにのらない。
- 知らない<sup>ひと</sup>人がちかづいてきたときは、<sup>はし</sup>すぐに走ってにげる。
- 知らない<sup>ひと</sup>人の<sup>くるま</sup>車から<sup>こえ</sup>声をかけられたときは、<sup>くるま</sup>車からはなれる。
- あぶないときは、<sup>おお</sup>ぼうはんブザーや<sup>おお</sup>大ごえでたすけをもとめる。

そ<sup>で</sup>外に出かけるときは・・・

おうちの<sup>ひと</sup>人に

どこへ行くのか

なに<sup>に</sup>だれと何をするのか

なん<sup>に</sup>何じごろにかえるのか

はな<sup>を</sup>話してから<sup>で</sup>出かけ  
ましょう。



こわいと思ったら・・・

ちかくの<sup>みせ</sup>お店やおうち  
に<sup>はし</sup>走ってにげこもう。



ぼうはんブザーをならすか、  
<sup>おお</sup>大ごえでたすけをもとめよう。



# ゼツタイにやめようね！

まんびき

みつけたあとで<sup>しなもの</sup>品物をかえしても、<sup>かね</sup>お金をはらっても、ぬすんだことにはかわりません。



<sup>みせ</sup>お店で<sup>かね</sup>お金をはらわないで、<sup>しなもの</sup>品物をこっそりもってかえることはドロボウです。



<sup>かね</sup>おうちのお金を<sup>だ</sup>もち出すこと



おうちの<sup>ひと</sup>人のサイフからだまって<sup>かね</sup>お金をもち出すことはドロボウになります。



<sup>とう</sup>お父さんや<sup>かあ</sup>お母さんがかなしみます。

そのことでウソをついて<sup>こころ</sup>いると、心がくるしくなるし、おうちの<sup>ひと</sup>人からもしんようされなくなります。



# お願い

## 地域の 皆さんへ

- 子どもを犯罪被害から守る取組みを広げましょう。
- 地域の防犯ボランティア活動に参加しましょう。
- 防犯パトロールで地域の犯罪を抑止していきましょう。
- 一人で遊んでいる子どもを見かけたら一声かけてあげてください。
- 不審者や犯罪が起こりやすい場所に関する情報は、学校や警察へお知らせください。



## 保護者の 皆さんへ

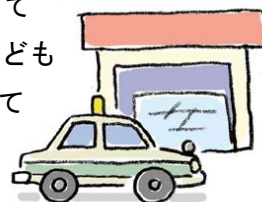
- 子どもと一緒に地域の犯罪の起こりやすい場所を確認しておきましょう。
- 子どもが身の危険を感じたときは、走って逃げたり大声で助けを求めるところを教えましょう。
- 子どもと一緒に「子ども110番の家」の場所を確認しておきましょう。
- 子どもが出かけるときは、必ず行き先を告げさせるようにしましょう。
- 子どもに防犯ブザーを持たせてあげてください。
- 子どもが危険な目に遭ったときは、必ず家の人に話すようにさせましょう。



## 子ども 110番 の家

子どもが身の危険を感じたときに駆け込めるのが「子ども110番の家」です。

地域内の「子ども110番の家」を増やして子どもの安全を守っていきましょう。最近では、郵便局の車やタクシーなど「動く子ども110番」の取組みも広がっています。このような活動に協力していただける方が多いほど、子どもの安全を確保しやすくなり、地域の防犯活動の高まりをアピールできます。



## 地域安全 マップ

地域安全マップとは、地域の犯罪が起こりやすい場所を地図にまとめたものです。子どもと一緒に街に出かけ、近所の危険箇所を自分の目で確認したり、地域住民へのインタビューを通じて、子どもは自ら危険を回避する能力を身につけたりすることができます。地域安全マップを作成して地域の犯罪が起こりやすい場所を洗い出し、効果的な防犯パトロールや防犯環境の改善などにつなげていきましょう。



お問い合わせ先

広島県環境県民局総務管理部県民活動課

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

TEL (082) 513-2744 FAX (082) 511-2173

ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/anzen/>